

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	特別支援教育論（Special Support Education Theory）		
ナンバリングコード	K20112	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目（必修） ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K007301	クラス名	-
担当教員名	川上 雄一郎		
履修上の注意、履修条件	授業には毎回出席することを原則とします。また、教員免許を取得するのに相応しく、授業には積極的・主体的に臨んでください。座席指定をしますが、見え方や聞こえ方などによる変更希望はいつでも受け付けます。 授業中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員志望に相応しくない行為は厳禁です。また、やむを得ない欠席や遅刻等は事前の連絡をするなど、「報・連・相」を身に付けましょう。		
教科書	「インクルーシブ教育時代の教員をめざすための特別支援教育入門」 大塚玲編著 萌文書林 2019		
参考文献及び指定図書	授業中に必要に応じて随時指示します。		
関連科目			

○基本情報		
授業の目的	本授業では次の到達目標を達成することを目指す。 ① 特別支援教育の理念・制度・歴史について理解する。 ② インクルーシブ教育システムについて理解する。 ③ 通級による指導及び自立活動の教育課程上の位置付けと内容を理解する。 ④ 特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。 ⑤ 特別支援教育コーディネーターの役割、特別支援学校のセンター的機能、関係機関との連携の在り方について理解する。 ⑥ 発達障害や軽度知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒の心身の発達・心理的特性及び学習の過程を理解するとともに、支援の方法を理解する。	
授業の概要	特別支援教育について基本的な知識を習得し理解を深めるため、特別支援教育の理念、制度、歴史及びインクルーシブ教育システムを解説する。次に、特別支援教育の教育課程を踏まえて個別の教育支援計画・個別の指導計画を解説する。また、特別支援教育を推進するための特別支援教育コーディネーターの役割、特別支援学校のセンター的機能、関係機関との連携、移行期の支援について解説する。さらに、特別な支援を必要とする障害のある幼児・児童及び生徒の発達・心理的特性・学習の過程・学習上または生活上の困難と支援の方法について解説する。障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児・児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	小学校特別支援学級での教員経験等の経験を活かし、この授業では、障害や特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の特性や困難及び支援のあり方の実際を理解させるとともに、幼児児童生徒への直接支援、保護者や関係者・機関との連携のあり方等について、専門的知識及び実践的指導力を身に付けさせたい。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	授業内容に興味・関心をもち、主体的・意欲的な態度で学ぶことができる。		5点	5点
【知識・理解】	特別支援教育の意義や進め方、必要な基礎的知識を習得し、適切な指導及び必要な具体的支援法を理解している。	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】	授業で扱った内容を自分なりの言葉で適切にまとめ、文章で表現することができる。 グループディスカッション等に主体的に参加することができる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	授業内容から、幼児児童生徒への指導・支援について、自分なりに思考し、創造することができる。	30点	10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
○ 毎回、授業内にて「課題シート」によるワークを実施し、授業終わりに提出することになる。評価に加味する。評価基準は以下の通り。 S 授業内容をよく理解し、振り返りながら自分の意見等も述べる能够做到ている。 A 授業内容をよく理解し、振り返ることができている。 B 授業内容をだいたい理解し、振り返ることができている。 C 授業内容を一部理解し、振り返ることができている。 D 授業内容の理解が不十分である。 なお、「課題シート」は次回以降の授業の際に返却します。学習の振り返りに活用してほしい。	

○その他	
○ 教科書は毎回持参してください。また、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領」及び「特別支援学校 高等部学習指導要領」を持参しておくことも勧めます。 ○ 「課題シート」には質問等を書く欄を用意します。遠慮せずに書いてください。 ○ 期末試験を実施します。持ち込み不可です。授業で学んだことをしっかり復習しておいてください。なお、試験範囲については、プリントで伝えます。	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	特別支援教育論（Special Support Education Theory） 川上 雄一郎	授業コード	K007301
学修内容				
1. 特別支援教育の歴史、定義、理念、学校・学級・通級による指導の制度				
○ 特別支援教育の歴史、定義、理念について理解する。				
○ 特別支援学校、特別支援学級、通級による指導といった制度について理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.24-33)を読み、特別支援教育の理念や制度について、学校生活の経験からから考察			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
2. インクルーシブ教育システムの構築と特別支援教育の推進				
○ インクルーシブ教育システムの構築について理解する。				
○ 学校における「合理的配慮」の提供について理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.172-185)を読み、インクルーシブ教育システムの構築について、学校生活の経験から			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
3. 自立活動の教育課程上の位置づけと目標・内容				
○ 自立活動の教育課程について理解する。				
○ 自立活動の目標・内容・指導計画作成上の留意事項について理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.69-79)を読み、自立活動について、これまでの学校生活の経験から考察しておく。			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
4. 個別の教育支援計画と個別の指導計画の意義と作成・活用				
○ 個別の教育支援計画の意義と作成及び活用について理解する。				
○ 個別の指導計画の意義と作成及び活用について理解するとともに活用について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所(pp.60-68)を読み、インクルーシブ教育システムの構築について経験から考察したり調べ			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
5. 特別支援教育コーディネーターの役割、特別支援学校のセンター的機能、関係機関との連携の在り方				
○ 特別支援教育コーディネーターの役割と校内委員会の設置について理解する。				
○ 特別支援学校のセンター的機能と関係機関との連携の在り方について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所(pp.51-59)を読み、特別支援教育の推進体制について、経験から考察したり、調べたりし			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
6. 発達障害(学習障害・注意欠陥多動性障害)児の発達・心理的特性・学習の過程と支援の方法				
○ 学習障害、注意欠陥多動性障害のある子どもの心理的特性や学習の過程について理解する。				
○ 学習指導、注意欠陥多動性障害のある子どもに対する適切な指導と必要な支援について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所(pp.162-171)を読み、発達障害教育について、これまでの学校生活の経験から考察して			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
7. 発達障害(自閉スペクトラム障害)児の発達・心理的特性・学習の過程と支援の方法				
○ 自閉スペクトラム障害のある子どもの心理的特性や学習の過程について理解する。				
○ 自閉スペクトラム障害のある子どもに対する適切な指導と必要な支援について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所(pp.162-171)を読み、発達障害教育について、これまでの学校生活の経験から考察して			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
8. 情緒障害児の学習上または生活上の困難と支援の方法				
○ 場面緘黙のある子どもの心理的特性や学習の過程と適切な指導と必要な支援について理解する。				
○ 不安症のある子どもの心理的特性や学習の過程と適切な指導と必要な支援について理解する。				
予習	教科書の該当箇所(pp.152-171)を読み、情緒障害教育について、これまでの学校生活の経験から考察して			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	特別支援教育論（Special Support Education Theory） 川上 雄一郎	授業コード	K007301
学修内容				
9. 言語障害児の学習上または生活上の困難と支援の方法				
○ 構音障害のある子どもの障害特性や学習の過程と適切な指導と必要な支援について理解する。				
○ 吃音のある子どもの障害特性や学習の過程と適切な指導と必要な支援について理解する。				
○ 特異的言語発達障害のある子どもの障害特性や学習の過程と適切な指導と必要な支援について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所 (pp.32-33、114)を読み、言語障害教育について、学校生活の経験から考察したり、調べ			約2時間
復習	配付資料や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
10. 知的障害児の学習上または生活上の困難と教育の方法				
○ 知的障害のある子どもの心理的特性や学習の過程について理解する。				
○ 特別支援学校(知的障害)における教育課程の編成と適切な指導について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所 (pp.106-121)を読み、知的障害教育について、これまでの学校生活の経験から考察して			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
11. 視覚障害児の学習上または生活上の困難と教育の方法				
○ 視覚障害のある子どもの心理的特性や学習の過程について理解する。				
○ 特別支援学校(視覚障害)における教育課程の編成と適切な指導について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所 (pp.80-94)を読み、視覚障害教育について、これまでの学校生活の経験から考察してお			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
12. 聴覚障害児の学習上または生活上の困難と教育の方法				
○ 聴覚障害のある子どもの心理的特性や学習の過程について理解する。				
○ 特別支援学校(聴覚障害)における教育課程の編成と適切な指導について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所 (pp.95-105)を読み、聴覚障害教育について、これまでの学校生活の経験から考察してお			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
13. 肢体不自由児の学習上または生活上の困難と教育の方法				
○ 肢体不自由のある子どもの心理的特性や学習の過程について理解する。				
○ 特別支援学校(肢体不自由)における教育課程の編成と適切な指導について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所 (pp.122-128)を読み、肢体不自由教育について、これまでの学校生活の経験から考察し			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
14. 病弱児の学習上または生活上の困難と教育の方法				
○ 病弱のある子どもの心理的特性や学習の過程について理解する。				
○ 特別支援学校(病弱)における教育課程の編成と適切な指導について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所 (pp.129-141)を読み、病弱教育について、これまでの学校生活の経験から考察しておく。			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
15. 特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応				
○ 日本語指導が必要な子どもに対する適切な指導と必要な支援について理解する。				
○ 不登校児童生徒に対する適切な指導と必要な支援について考察を深める。				
予習	教科書の該当箇所 (pp.142-161)を読み、日本語指導が必要な児童生徒や不登校児童生徒について、考察し			約2時間
復習	教科書や課題シート等を読み直し、必要事項を整理する。			約2時間
16. 期末試験				
○ 全15講で学んだ内容についての論述式試験を実施する。				
○ 試験の範囲等は、プリントにて伝える。				
予習				
復習				